



11月
中旬

12月
初旬

冬きたる

なぎさ公園小学校の正門を入ると、もうすっかり冬の景色になりました。あれほど美しかった紅葉も、2週間足らずで、あっという間に赤や黄色の葉が落ちて、すっかり冬景色です。

11/24 避難訓練

地震や津波に備えて避難訓練をしました。大きな津波を想定して、本当なら、広島なぎさ中学校・高等学校へ避難することになっていて、その後、津波がさらに大きい時、海老山へ避難することもあり、そのための訓練でした。みんなが折りたたみヘルメットをかぶり、ピオトープ前に集まるのに5分もかかりません。整然と集まることができました。次のようなお話を聞いて訓練を終わりました。この時期に地震の避難訓練があるのは、訳があります。

・・・11月5日は、「世界津波の日」・・・

由来は、和歌山県で起きた大津波の時、浜口ごりょうという人が自分で育てた稲に火をつけて、みんなに津波が来ることを知らせ、村の人の命を救ったという「稲村の火」のお話から「世界津波の日」が決まりました。

大勢の人の命を救うことは、みんなには難しいかもしれませんが、でも自分の命を守ることはだれもがしないといけません。そのためにはどんなことに気をつけたらいいでしょう。

カンツバキ

正門を入ると左手に小さな赤いつぼみを見つけました。カンツバキです。サザンカとツバキの交雑種（異論もあり）ですが、写真のようにつぼみが膨らんで本格的な冬を待っています。かわいい赤い花が見られるのを待ちかねてます。

12月の生活目標

- ・登下校のマナーを守ろう
- ・ふるえる心を発揮しよう

まず人の話を良く聞くこと。今、どこで、どんなことが起きていて、どのようにして逃げるのが一番安全かなどをしっかりと聴くことが大切です。

また、自分だけでなく周りの人も聴くことができるようにみんなが黙って行動することとても大切です。

次に、聴いたことからしっかり考えて、すばやく判断することが大切です。大人の人がいつもそばにいるとは限りません。自分で考えて行動することが大切です。私たちが日頃勉強していること、しっかり聴く力、じっくり考える力、大声で助けを呼ぶときに必要なはっきり話す力、これらは全部、命を守り、けがなく安全に過ごすための大切な力なのです。

命を守る訓練をしましたが、地震はいつでも、どこでも起きるということを忘れず、どんな時も命が一番大切であることを心にとめて毎日の暮らしを大切にしていきましょう。・・・・・・



なぎさ公園小学校では、1年生から6年生まで折りたたみヘルメットを椅子の後ろや机の横にかけていて、いざという時には、素早くかぶって避難します。火事の時にも、火の粉がかからないように頭の後ろに火よけがついていて安心です。

みんな緊張した顔つきで、素早く避難できました。コロナ禍で、しばらく訓練ができなかったにもかかわらず大変立派でした。